

令和3年度第8回石狩市浜益区地域協議会議事録

【日 時】 令和4年3月2日（水）18：00～19：10

【場 所】 浜益支所2F庁議室

【資 料】

- 1) 会議次第
- 2) 浜益区の新しい教育・保育環境整備に関する保護者説明会【質疑と回答】
- 3) 高齢者の暮らしに関するアンケート概要と結果
- 4) 地域おこし協力隊活動パネル展

【出席者】7名（13名中）

役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠
会長	渡邊 隆之	○	委員	渡邊 真奈美	○	委員	水崎 理	○
副会長	佐藤 晃一	○	委員	阿部 ゆかり	○	委員	徳田 和之	○
委員	岡本 俊介		委員	木村 美幸		委員	柿岡 奈々絵	○
委員	久慈 貞子		委員	徳地 克実	○			
委員	鳴海 翔		委員	赤間 香子				

（支 所） 畠中支所長、開発市民福祉課長（併 浜益生涯学習課長）
 宇野市民福祉課保健福祉担当課長（兼 はまます保育園長、浜益国保診療所庶務課長）
 井上協力隊

（本 庁） 教育委員会東総務企画課長
 （オンライン）企画経済部企画課 中西次長、芳賀主査

（事務局） 佐々木地域振興課長、柿崎主査

【傍聴者】 3名

【会議次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
 - (1) 浜益区の新しい教育・保育環境整備について
 - (2) 地域おこし協力隊及び集落支援員の応募状況について
- 4 協議事項
 - (1) 高齢者に優しいまちづくりに関する意見交換
- 5 その他
- 6 次回の開催日程について
- 7 閉 会

1 開 会

【事務局】

定刻となりましたので、令和3年度第8回浜益区地域協議会を開会します。

2 会長あいさつ

今年は例年になく大雪や吹雪等で雪かき等大変だったと思いますが、先週からプラス気温になり、浜ではニシンの水揚げも始まり、今が最盛期の様であります。ようやく春の訪れを感じられる季節となりました。

しかしながら、年明けから猛威を振るっております、オミクロン株による新型コロナウイルス感染症も感染者数は減少傾向にあるものの、病床使用率は高止まりの傾向にありますことから、皆様におかれましては引き続き感染防止対策のさらなる徹底に努めていただきたいと思います。

さて、今日の議題は報告事項として「浜益区の新しい教育・保育環境整備について」と「地域おこし協力隊及び集落支援員の募集について」の2件、協議事項といたしまして、第9期地域協議会の継続的な検討テーマであります「高齢者に優しいまちづくり」に関する意見交換をしていきたいと考えております。

これから進展する浜益区において、地域に暮らす方々が生きがいを持ち、安心・安全、そして心豊かに暮らしていけるよう、どうぞ委員皆さんの活発な意見をお願い申し上げまして、挨拶にかえさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

本日の会議は委員13名のうち7名が出席し、過半数に達し成立していることを報告します。

3 報告事項

【渡邊会長】

本日は報告事項2件と協議事項1件を予定しております。

初めに「浜益区の新しい教育・保育環境整備について」東総務企画課長から説明をお願いします。

【東総務企画課長】

本日は「浜益区の新しい教育・保育環境の整備に関する保護者説明会の結果」について、ご説明させていただきます。

説明会は1月21日（金）18時30分から19時10分、1月23日（日）10時30分から10時50分の2日間において浜益コミュニティセンターきらりで開催しました。保護者の皆様には学校や保育園を通じて事前にご案内させていただいたところです。

参加者は、1日目は全体で21名うち16名が保護者、2日目は全体で3名うち2名が保護者ということで、保護者の参加は18名という結果でした。

事務局から、浜益区の教育・保育環境の現状と課題を説明するとともに、解決のための市及び市教委としての基本的な考え方である、現浜益中学校用地内に小学校と保育園を集約すること、そして、具体的な整備については、中学校の改修と小学校・保育施設の増築で進めさせていただきたい旨、説明をし、その場合には安全性などの観点から、中学校の校舎の前側にある小グラウンドの一部を活用せざるを得ないと説明をさせていただきました。説明に対してその場でいただいた質問とそれに対する回答は資料の1ページになります。

何点か申し上げますと「整備によって前庭がどの程度残るのか。」といったご質問や、中学校の校舎の活用などについてご質問があり、それぞれ記載のとおりご回答させていただいております。

また、説明会終了後に参加者の皆様には市教委の方針について、アンケートを実施し、その結果は2ページ目に記載しています。

設問ではまず、小中学校の統合と保育園の併設についての考えをお聞きし「良い」と答えた方が、2日間の参加者18名中15名で、約83%。「良くない」と答えた方はありませんでした。「どちらでもない」と答えた方が3人で約17%でした。

次の設問では、説明会での市教委の方針について考えを聞き「説明のとおり進めることを認める。」と答えた方が12名で約67%「賛同できない」と答えた方が3人で約17%、もともと選択肢にはなか

ったのですが、「どちらでもない」と記載された方が2人で約11%、無回答が1人という結果となりました。

この結果を受け、市及び市教委としては、保護者の皆様に一定のご理解をいただけたものと判断し、令和4年度から整備に向けた設計業務に着手したいと考えておりまして、現在開会中の市議会定例会に予算案を提案したところです。

資料の3ページ、4ページには、アンケートの自由記載欄にお寄せいただいたご意見が記載されておりますので、後ほどお目通しいただければと思います。

今後の施設整備にあたりましては、児童・生徒や保護者、地域の方々の声をしっかりと受け止めながら進めていきますので、引き続き地域協議会の皆様にもご協力をいただきますよう、お願いいたします。

どうぞよろしく申し上げます。

【渡邊会長】

ただいま、新しい教育・保育環境の整備について、東総務企画課長から説明がありました。委員の皆様から何か確認したいということがございましたらお受けします。

～ 確認事項意見なし ～

【渡邊会長】

次に「地域おこし協力隊及び集落支援員の応募状況について」事務局より申し上げます。

【事務局】

まず、応募状況についてです。

地域おこし協力隊、定員1名に対しまして、残念ながら応募はありませんでした。厚田区の地域おこし協力隊に対しましては2名の応募があったと聞いております。

地域おこし協力隊については定員1名で引き続き募集を延長し、応募があった都度面接をし、良ければ採用という流れで、粘り強く募集していきたいと考えております。

集落支援員については、定員2名に対しまして、2名の応募がありました。厚田についても定員1名に対しまして1名の応募があったと聞いております。

集落支援につきましたは、第1次で書類選考を終えておりまして、明日、2次選考の面接を実施しまして、採用の可否を決定したいと考えております。

集落支援員の面接についてですが、3名の選考委員で行うことにしております。そのうち1名は地域協議会が推薦する委員となっております。本日この場で協議していただいで決定していただければと思います。

【渡邊会長】

事務局から説明がありました。

初めに、説明があった内容について確認しておきたいことなどございますか。

～ なし ～

集落支援員の面接に参加する委員の推薦について、どなたか立候補していただける方おられますか？ちなみに私は自治会連合会として委員として出ることになっておりますので、私以外でお願いします。

立候補者がいないようなので、私の方から指名させていただきます。佐藤副会長にお願いしたいと思います。

～ 佐藤副会長了承 ～

それではよろしく申し上げます。

次に本日の協議事項に移りたいと思います。第9期の地域協議会では「高齢者に優しいまちづくり」を継続的なテーマとして、協議していくこととしており、前回・前々回と保健師さんや生活コーディ

ネーターから浜益区の高齢者の状況、カフェ・クローバーや縁ジョイクラブなどの事例報告を受けました。

今日はそれらの内容に関することでも結構ですし、日頃、自分でお考えのこと、また、実際に地域の方から聞いた話など、なんでも結構ですので、ざっくばらんに意見交換をしていきたいと思います。

その前に事務局から情報提供があるようですので、お願いしたいと思います。

【事務局】

高齢者に優しいまちづくりの関連という事で、昨年実施しました「高齢者の暮らしに関するアンケート」についてこの場で情報提供したいと思います。

カフェガルを活用したワーケーションを去年行っていましたが、そこで訪れていたさくらインターネットさんにご協力いただいて「高齢者の暮らしに関するアンケート」をおためしで実施しました。

このアンケートは、スマホやタブレットを使って地域おこし協力隊や我々職員が回答のお手伝いをしながら、高齢者とコミュニケーションを取りながら実施したものです。

今後の浜益区の高齢者のITリテラシー、ITを使いこなす能力に関するちょっとした調査も行っております。

～ スクリーンの資料で説明 ～

このITを活用したアンケート調査を実施する仕組みですが、去年はトライアルで実施しましたが、新年度も市の事業として継続することになっております。

この地域協議会でも高齢者に優しいまちづくりに関連しまして、こんなことをアンケートしてみたらどうだろう、などご提案がございましたら、是非実施したいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

【渡邊会長】

アンケートの実施状況について説明がありました。この内容についてでも結構ですし、地域の方からのお話しや自分で日頃思っていること、高齢者に優しいまちづくりでどうするべきなのか、皆さん様々なご意見をお持ちかと思ひます。

本日まとめるとかそういうことではありませんので、話し合いを通じて、基金事業を活用した取り組み、あるいは他の形など、あまり難しく考えないでそれぞれ考えていることを発言していただきたいと思ひます。

【柿岡委員】

私、去年から高齢者のお家の除雪サービスに行っています。去年は1軒だけやらせて頂いて、楽な思ひをさせて頂いていたんですが、今年は人手も足りず3軒受け持つことになり、やれるだろうと思ひていたのですが、この大雪で死にそうな思ひをしました。

登録しているメンバーが何人かいるのですが、今のこのシステムでいくと近い将来、人が回らなくなるのは目に見えていると思ひます。

体力のある元気な人達は減っていくだろうし、対象になる高齢者の方も増えてくると思ひます。

今は朝6時から12時までの間に大体1軒30分ぐらいのペースでやってくださいとなっているんですが、本当につらいんです。

やらなくて済むならやりたくないですが、お住いになっている高齢者の方たちの生活道路の確保という面もあるので、できる人がみんなやっていかなきゃならないことだとは思ひるので、今のシステムについて検討の余地があるのかなと思ひます。

【宇野保健福祉担当課長】

貴重なご意見ありがとうございます。

柿岡委員がおっしゃったのが実態だと思ひます。

・この制度、非常に長い歴史を持つ制度でありまして、担い手の確保もそうですが、除雪サービスを実施する人もサービスを受ける側の年齢になってきている状況です。

ただ、これという決定打もなく、実際のところ毎年何とか乗り切っている状況です。人の確保をど

うしていくのかということと、システムそのものをどうしていくかというのは保健福祉サイドとしても問題意識としてありますので、まさに今回の大雪もありますので、本格的に向き合いながら考えていかなければならないと思っています。

【渡邊会長】

今すぐ解決できる課題ではありませんので、行政と歩調を合わせながら検討していかなければならないことかと思えます。

【水崎委員】

中学校も地域のために何かをとということで、除雪ボランティアをさせていただきました。子供達はやらされ感なく、心地よくできているのではないかと思います。

また、先ほどの青空体操クラブですが、浜益地区ですと旧武安商店に集まられて実施していますが、例えばワゴン車でうちの学校まで上がっていただいて、格技場で海を見ながらやるとか、前庭で生徒も一緒に入るとか、今は園児だとか老人だとか交流が難しい時代ではありますが、屋外であれば何かできるのではという可能性に期待しています。

お年寄りにやって差し上げるのではなくて、Win×Winの関係になればいいかと常々考えています。例えば、ちょっと散歩がてらに来ていただいて、花壇の草を取ってもらうとか、花殻を摘んでもらうとか生徒と触れ合うとか。

次年度本校の生徒数は12名の予定です。わずか12名なので体験入学したいという大人もおりますので、できたら地域の参観日ですとか、何かお年寄りも授業体験入学するなどにより、昔の旧尋常小学校を懐かしんでもらうとか、茂生の学校の歴史を語ってもらう、おばあちゃん先生になってもらうとか、そういうので何か元気になってくれないかなという事も考えています。

私は前任校では「赤ちゃん登校日」というのをやりました。赤ちゃんを連れのお母さんに登校してもらうというものです。浜益で赤ちゃんはちょっと難しいかもしれませんが、お年寄りから学ぶとか、してあげるのではなくて一緒に何かをやるとかそういうことができ、学校も子供もプラスになる。そしてお年寄りの方もそれによってやりがいができるというようなことを考えています。

【渡邊会長】

今、コロナの関係でなかなかすぐというわけにはいかないでしょうけれども、ある程度収束した時点でそういったことも必要になってくると思います。

もしできるのであればお年寄りとの交流、家から外出して色々なところで話し合ったり、若い人たちと交流したりすることで、生きがいを持った生活ができるのではと私も思っています。

【徳田委員】

アンケートを読ませていただいて、最後のページにあるんですが、長生きの秘訣について人との交流のところを読むと「孫たちと会いたいと思う事」という文言があります。当然自分のお孫さんですが、地域の子供達も孫みたいなものだと思いますので、今、水崎委員もおっしゃっていましたが、小学校とかでは今はコロナで難しいですが、交流が一番いいのかなと考えております。

先ほどもありましたが、助けてあげる、してあげる、いたわってあげるではなくて、一緒に何か作り上げていくというような、活動がやはりあっていいのかなと思います。

それに加えて、意外と浜益の子供達、浜益の歴史というか先人の歴史をあまり知らないんですね。色々副読本等書いてあるのですが、やはり生の声でおじいちゃんおばあちゃんから昔のこととかを学ぶ、先人に学ぶではないですけども、そういった取り組みがあってもいいのかなと常々思っています。昔の遊びでもいいですし、なんでもいいです。何か一緒に作り上げていくというか、そういったものが子供達もやりたいと思うでしょうし、必要なのかなと思います。今コロナが収束していないので難しい部分ではありますが、それでもあれもできないこれもできないではなくて、何かできることを探すというか、糸口を探すことが大事かなと思います。

【渡邊会長】

小学校で沖上げ音頭もやられていますので、そういった部分でも浜益の先輩の方々から指導を受けたりしていると思いますが、それに限らないで色々なことで高齢者等と触れ合う機会を増やしていけるような取り組みができればと思います。

【渡邊委員】

昔こだま会で浜益の昔話の本を作ったんですが、さらに新しい昔話を集めたいなと思っていたところ。そういうのを誰とやれば楽しいかなというのを考えていて、小学生とか中学生とかとお年寄りのお話しを聞く機会を作って、みんなで昔話を1冊作れたらいいなあと考えています。

【渡邊会長】

皆さん浜益の昔話の本見たことありますか？

【事務局】

昔話ができしたのは何年ぐらい前でしたか？

昔話もありますし、去年、地域協議会でエゾロックさんが報告した集落の教科書づくり、あれも年度末に第1版ができると聞いておりますが、そのスピンオフで歴史的なものもまとめて、絵本調なのか実写調なのかわかりませんが、地域と学校と地域外の人たちでそういうものを残していくのもいいのかなと思います。

【渡邊会長】

他にありませんか。

【阿部委員】

私が今考えていることは廃墟になった家のことです。動物が入って凄いですよ！

それと災害、風吹いた時など屋根が飛ばされて、そういうのをちょっと考えてほしいなと思っています。

【柿岡委員】

廃墟になっている家というのは、持ち主が浜益に住んでいないけど、よそにいるみたいなことですか？

【阿部委員】

いっぱいあります。

うちの近くでは 蛇とかアライグマとか入ってすごいです。

あちこちにあるので、動物関係とか壊れたものが飛ぶとか、ちょっとどうにかならないかなと。

あともう一つ、災害があったときだけ防災訓練しますよね？でもこの頃は全然それに携わっていないですよ？

【渡邊会長】

本来は災害があってもなくても実施すべきものですが、コロナの影響で人がたくさん集まるのは避けようということでやっていない部分もあります。

【阿部委員】

でも、少しずつでも取り組んでいかないと、せっかくお年寄りを大事にしようと言っているのに、対応しないとお年寄りが先にだめになっていくと思います。

【渡邊会長】

私は柏木の自治会の会長なんですが、コロナが発生してから3年ぐらいやっていないですが、状況を見ながら、できれば全員でやりたいと思っています。

【事務局】

阿部委員が言うように、そろそろコロナを踏まえた避難訓練みたいなものも必要でないかなと思います。

3年前に異動で来たときは結構あちこち実施していて、防災まちづくり協会の人から段ボールベッドの組み立てを教わったりしていました。コロナ禍における避難訓練の形みたいなものを皆さんに知っていただくというのも含めて実施することは効果があると思います。

【佐藤委員】

川下の自治会はこの前の会議で、今年はやるという方向で動いています。

【渡邊会長】

柏木自治会も新しい集会施設を利用してやるということで役員の了解をもらっています。

【柿岡委員】

優しいかどうかはわかりませんが、逆に連携してもらわなければいけないかもしれませんが、コロナ禍で出歩けないという高齢者の話を結構聞くじゃないですか、そういう人たちこそこういう機会にスマホだったり、タブレットだったりに触れて、使い方を学んでもらって、外には出れないけれどオンラインで会話するとか、先ほども出ていた避難訓練的なものもオンラインで一斉に動画配信して講習を受けてもらうのも一つの手段ではないかと思います。

コロナ禍で色々制限されているところではありますが、小中学校は既にオンライン学習とかにも取り組んでいるし、オンラインではあるけれどもお互いに交流が図られると思います。

そのためにスマホショップの店員さんに来ていただいて、シルバー世代のスマホ講習というのを実施してもらうなどもありなのかなと思っています。

【事務局】

その件ですが、市の新年度予算で事業として進めていこうという話になっていますし、さくらインターネットさんがワーケーションで来た時にそういうのもやってみたいという話もあったので是非企画できればと思います。

6割高齢化の地域でオンラインが普及していますよということは、なにか斬新かなと思いました。

【渡邊会長】

アンケートを見ると4割の人がスマホを持っていると答えています。

【事務局】

機能的にはやはり電話とかで、インターネットは使っちゃだめと言われていたようなので、その安全な使い方というか、そこをしっかりと伝授したうえで、例えばzoomとかこういうものですよとか。

【渡邊会長】

特に特殊詐欺にだけ、気を付けてもらえればと思います。

【佐藤委員】

除雪とかさっきの話もあったんですけど、僕はタイヤショベルがあるので、結構いろんなところの家の除雪を頼まれてやっているのですが、主に国道なんですけど、捨てる場所がなくて困っています。

その人の土地であれば、押しでもいいよという事で押ししているのですが、結構小さな敷地で捨ててくれと言われるとそれを持っていくところがなくて困っています。堆積所とかはつきり場所がわかればいいのですが。

【事務局】

浜益区内で一般の堆積場として用意されているところはないですね？

【佐藤委員】

旧中学校のグラウンドぐらいですかね？

【渡邊会長】

昔は旧中学校のグラウンドがそうだったのではないのでしょうか。

【事務局】

関連で花川や花畔地区ではシーズン排雪など業者さんと契約できるのですが、浜益はそういうのはありますか？

【佐藤委員】

お店を営んでいる人はやっているとは思いますが、個人ではないのでは。

【事務局】

お年寄りが屋根の雪下ろしをどうしていいかわからないとなったときに、市道だったら市の除雪のほうで対応できますが、敷地内だと手を出せない訳です。その時に頼む先がない。花川なら業者に頼んでお金で解決できますが、それも浜益ではできない。それは困るのではと常々思っています。

【柿岡委員】

個人的に個人に依頼している人は結構いますが、それも個人同士のコミュニティで完結しているものなので、今年度は対応しきれなかったと聞いています。

【佐藤委員】

地元業者に頼んだけど忙しくて断られたとも聞きました。

【渡邊会長】

冬場はやっぱり雪投げがお年寄りにとっては、特に今年みたいな大雪になったら厳しいと思います。

【柿岡委員】

高齢者の話とは少しずれてしまうのですが、雪かきをしていて今年気になっているのが鹿の多さです。いるのは構わないけれど結局害獣じゃないですか？ 猟銃免許を持っている方に駆除をお願いしてもその鹿の処分も困るし、できれば食べたいですが、下処理をきちんとしたものでなければ美味しくなく、加工品としてきちんと処理できるのであれば害獣駆除ももっとできるし、肉もご当地名産として売れるのになあと思います。

【渡邊会長】

意見交換の時間はここまでといたします。

本日出された意見については事務局で整理していただきまして、次の地域協議会で報告していただきたいと思います。また、関連する情報等がありましたら、その時に合わせて情報提供していただきたいと思います。

5 その他

【渡邊会長】

この場をお借りして、皆さんから話題提供等ありませんか？

【井上協力隊】

浜益支所1階ホールで地域おこし協力隊活動報告パネル展を実施しています。お知らせと是非、周りの方に周知をお願いします。

【事務局】

事務局から2点ほどあります。

本日欠席しております徳地委員の方で以前報告のあった特定地域づくり事業協同組合、その準備が着々と進められています。再来週の土曜日、3月12日に事業組合の創立総会を実施する予定となっております。

組合員、出資者につきましては6名で設立し、初年度令和4年度は5月1日からの事業開始を目指しております。内容はマルチワーカー、浜益区内の農業や漁業とか飲食業など、季節ごとの仕事を組み合わせる3名のマルチワーカーを区内・区外から雇い、労働者派遣事業を行う組合です。

組合が設立できましたら、総務省の事業認定も並行して進めまして、さらに労働者派遣事業の届け出も進めまして、事業開始というように進めていきます。

次に、市の審議会委員2名の推薦依頼が来ておりますので、ご協議いただきたいなと思います。

まず、一つ目が石狩市自治基本条例懇話会委員の推薦です。平成20年に施行しました石狩市自治基本条例というのがありまして、こちら5年を超えないごとに現在の条例が社会情勢に適しているかどうかという検討を行いまして、その結果に基づいて必要な見直しを行うと定めており、令和4年度3回目

の検討作業の年となっております。

この見直しのために開催されます石狩市自治基本条例懇話会にはこれまでも地域協議会の会長が参加しておりましたので、今回の推薦につきましても渡邊会長を推薦してはどうかと考えております。任期につきましても、令和4年4月1日から1年間となります。

次に石狩市総合戦略推進懇話会委員の推薦についてです。

市では人口減少の緩和、地域経済の発展、持続性の高い地域社会の構築を目指し、第2期石狩市まち・ひと・しごと総合戦略を策定して、地方創生の取り組みを推進しているところです。

この地方創生の効果の検証や意見交換などを行うために石狩市総合戦略推進懇話会というものが設置されておりまして、こちらも令和4年4月が委員の改選期にあたっています。

浜益からはかつて地域協議会委員を長きにわたり努めていただいた、浜益自治婦人会連絡協議会の白井さんに継続して参加していただいているところでありまして、今回の改選についても白井さんを推薦してはどうかと考えております。なお、白井さんご本人には事前に内諾もいただいております。任期は令和4年4月1日から令和6年3月31日までの2年間となっております。以上お二方の審議会委員の推薦についてこの場でご承認をいただければと思います。

【渡邊会長】

ただいま、事務局から2つの委員の推薦の提案がありました。

～ 異議なしの声 ～

それでは、石狩市自治基本条例懇話会委員には私渡邊が、石狩市総合戦略推進懇話会委員には白井かの子さんを推薦します。

【事務局】

黄金山の写真ですが、支所内で最近話題になっているのが、山の雪形が何に見えるか、ということで、様々な説があるようです。亀と象ですとか亀と孔雀など言われていたり、実田の人から聞いた話では、昔は亀と象だったが象の鼻のところに木が生えて象に見えなくなったので、今は亀と孔雀になったんだなど、諸説あるようです。

皆さんは何に見えるですか？

～ 談笑 ～ 鶴と亀という説が有力。

6 次回の開催日程について

【事務局】

次回ですが、4月中旬を予定したいと考えております。

主な内容は令和3年度地域自治区振興基金の実績及び令和4年度の事業計画のほか、継続協議となっている高齢者に優しいまちづくりについて、今日のまとめも含めて議論いただければと思います。詳しい日程は後日改めてお知らせさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【島中支所長】

～ 定年退職のご挨拶 ～

7 閉 会

令和4年4月15日 議事録確定

石狩市浜益区地域協議会

会長 渡邊隆之

